

大竹市消防団



大竹市民の安全・安心を求めて

団の紹介

大竹市は広島県の西の玄関口で、山口県との県境に位置し、終戦後旧海軍施設跡地に日本で最初の石油コンビナートを形成した工業都市です。山間部・沿岸部・島しょ部から構成された自然に恵まれた人口約 28,000 人の小さな市です。

大竹市民の安全・安心を求めて

- ・本市は近年大きな火災はありませんが、火災予防の取組として、秋季全国火災予防期間中に消防庁舎周辺において、消防本部と合同で消防フェアを開催し、「煙体験」、「消火器体験」、「土のう作り体験」、「救助袋体験」、「防火紙芝居」など市民に防火・防災への関心を深めるイベントを行っています。
- ・定期的に消防署との合同訓練では、糸魚川大火災を踏まえて、消防署の放水砲車に可搬ポンプ 4 台での中継送水やターレットを活用した大量放水・連携訓練、1 線 2 口放水訓練、防火帯放水訓練などを実施するなど、幅広い技術と経験を通して、災害活動経験の少ない団員の活動能力の向上を図っています。
- ・女性団員は現在 32 名が在籍し、各所属に応じて、昼間の男性団員が手薄な山間部や島しょ部の初期消火活動、高齢者世帯へ防火指導など、また、全国火災予防期間中には市内一円を軽広報車により火災予防の広報活動などを行い活躍しています。



今後の活動について

本市は、人口減少・高齢化などにより団員確保維持の問題を抱えていますが、各分団が工夫し定数確保に努めています。また、近年は異常気象による自然災害などが多発し、市民の不安が増す中、日常訓練に加え地域を巻き込んだ防災訓練を充実させ、信頼される消防団として、企業及び行政と協力し大竹市民の安全・安心を確保するよう取組んでいます。

消防団の概要（平成 29 年 4 月 1 日現在）

団長 丸本 一・ 条例定数 330 人 実員数 328 人
(男性団員 296 人 女性団員 32 人)